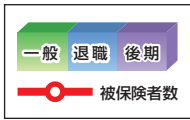
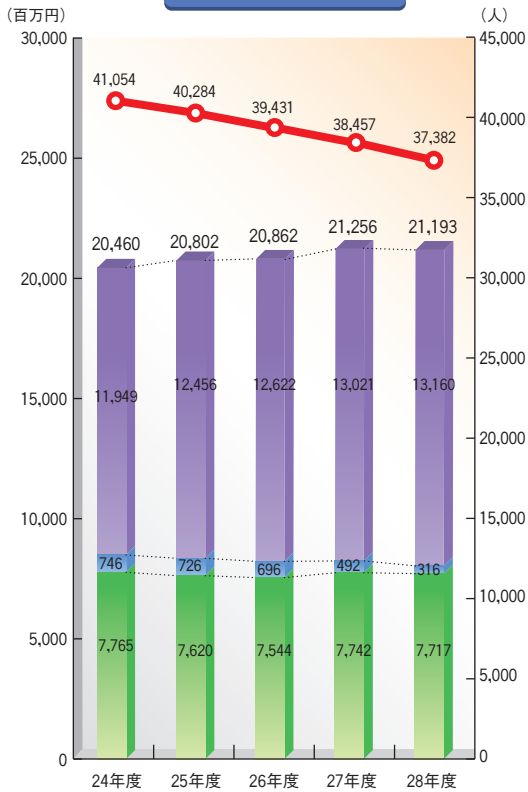


日光市

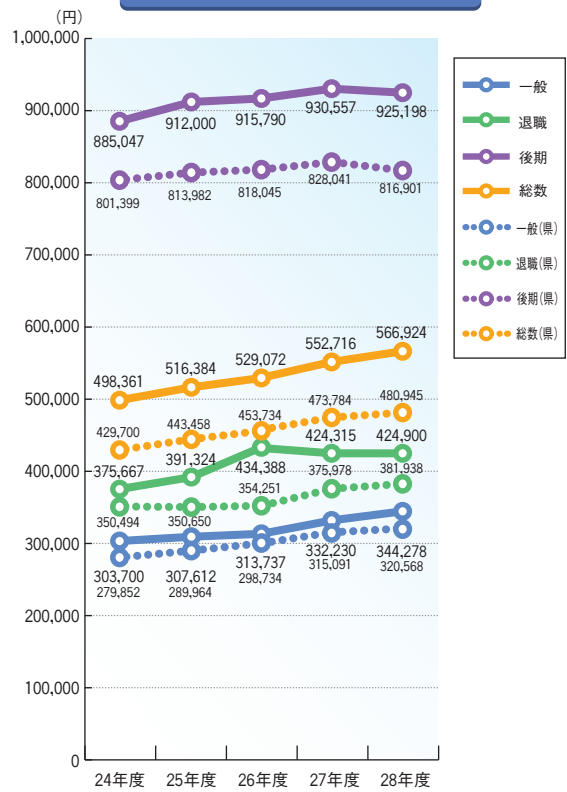
日光市



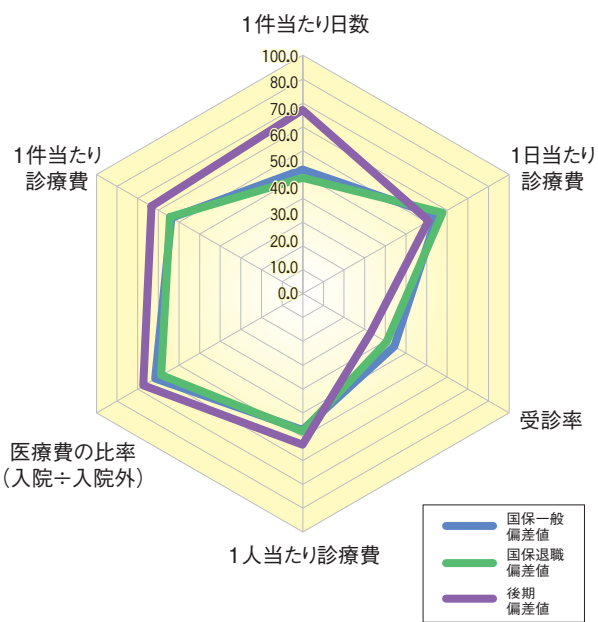
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

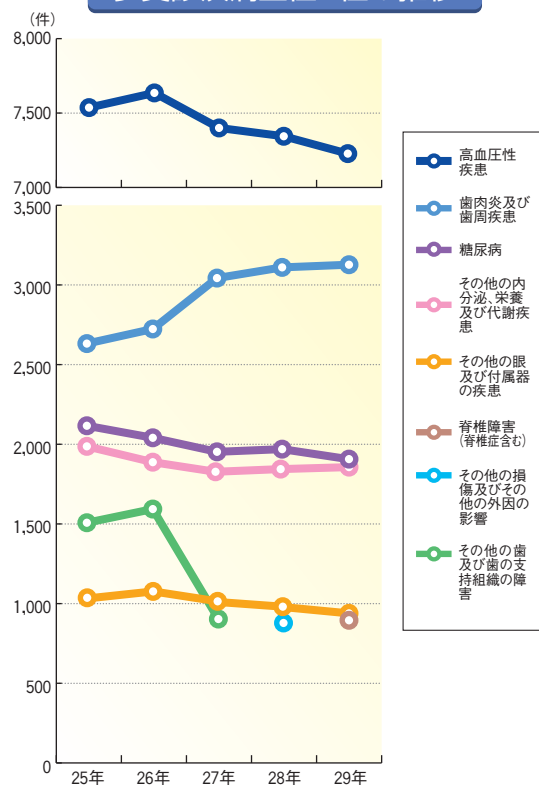


平成28年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

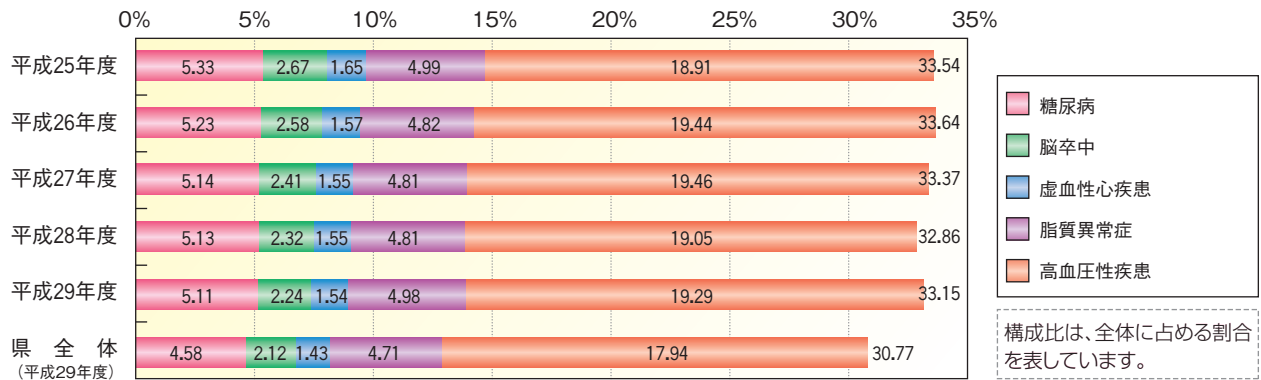


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

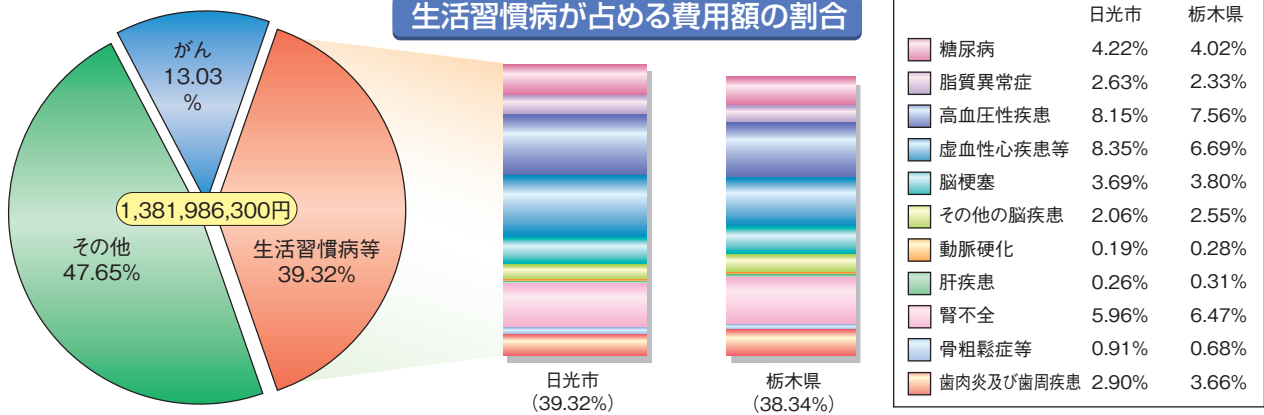
多受診疾病上位6位の推移



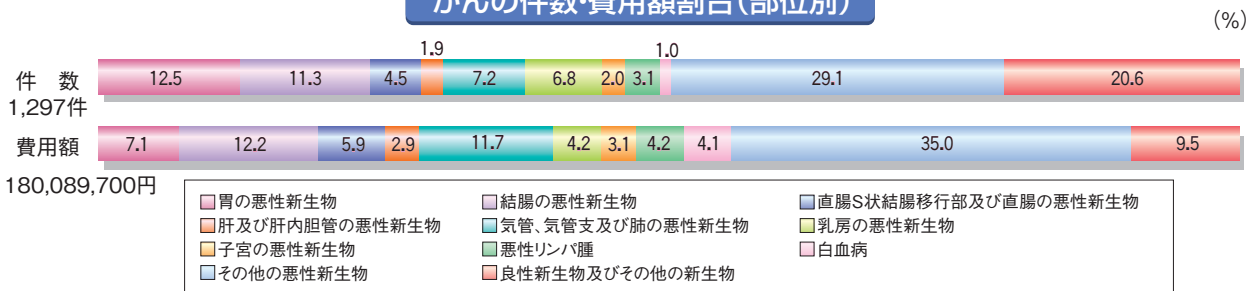
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



日光市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般7,716,998千円(99.7%)、退職315,701千円(64.1%)、後期13,160,092千円(101.1%)で、全体では21,192,791千円(99.7%)と減少している。()は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は37,382人で、内訳は一般22,415人、退職743人、後期14,224人である。前年度と比較すると全体で97.2%と減少している。

また、平成28年度1人当たり医療費の推移をみると、総数は566,924円(14,208円増)、一般は344,278円(12,048円増)、退職は424,900円(585円増)、後期は925,198円(5,359円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、受診率はいずれの法別も県平均を下回っており、1日当たり診療費、1人当たり診療費、医療費の比率及び1件当たり診療費はいずれの法別も県平均を上回っている。

★疾病の状況

平成29年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位その他の眼及び付属器の疾患、6位脊椎障害(脊椎症を含む)で、中でも、2位の歯肉炎及び歯周疾患は、年々増加傾向にあり、費用額は平成25年度と比べて1.19倍となっている。

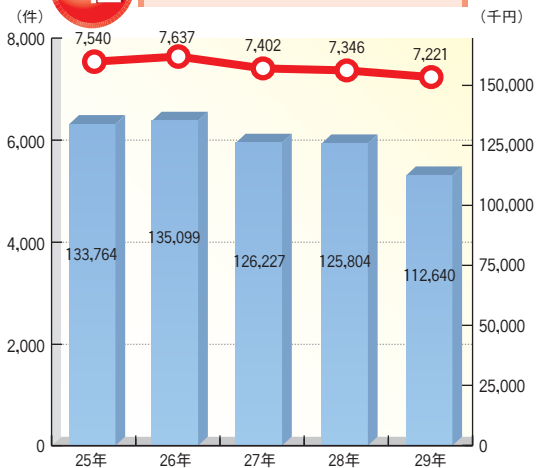
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ、5疾病全て高い構成比になっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が1,381,986,300円で、がんが13.03%、生活習慣病等が39.32%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額の占める割合が高い疾病は、虚血性心疾患等8.35%、高血圧性疾患8.15%、腎不全5.96%となっている。

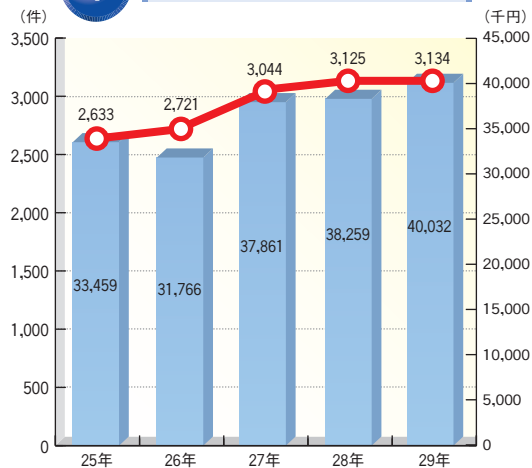
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では、結腸の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

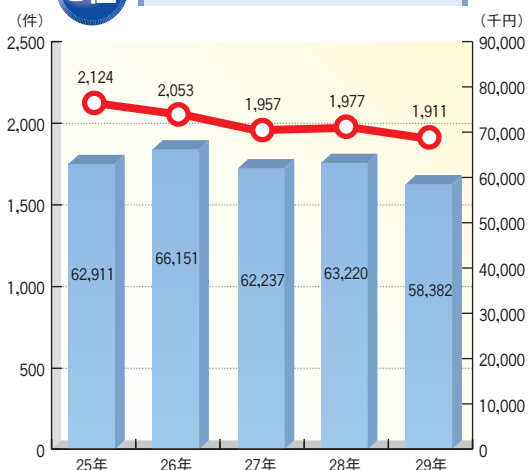
1位 高血圧性疾患



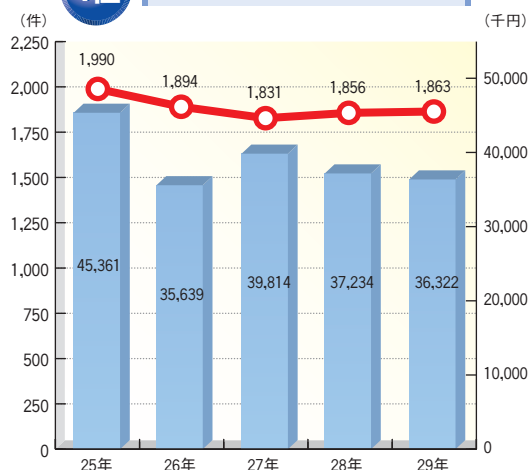
2位 歯肉炎及び歯周疾患



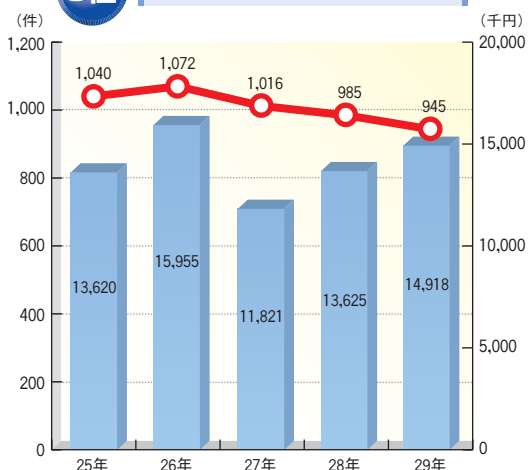
3位 糖尿病



4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 その他の眼及び付属器の疾患



6位 脊椎障害(脊椎症を含む)

